

各県業界団体が撤去作業へ



産廃協による撤去作業



和歌山県市屋地区の仮置き場



道路に溜まった土砂の積み込み作業



山積みになった量

方々を迅速に運搬・処理した。奈良県との災害廃棄物処理協定に基づき、初の出動となった。奈良県では、台風12号の被害が南部に集中していたので、09年の協定は04年に県と締結。協定に基づく申請で出動するのは今回が初めてとなる。全壊・半壊した家屋の解体と撤去作業なども受けるため、作業は数カ月以上かかる見込みという。

（社）三重県産業廃棄物協会 1市4町で連日作業行う 山間部の車両搬入に苦労

（社）三重県産業廃棄物協会（木村亮 会長）は、台風1号による豪雨被害を受けた県内の1市4町で、災害廃棄物の収集運搬・中間処理などの応援協力を連日行っている。県知事からの依頼を受け、11月9日から現場の作業を開始。水没した家屋の解体作業なども進めており、応援協力として今年2月末まで続けていく予定だ。

要請を受けた地域は、紀宝町、熊野市、大木町、御浜町、大台町。これまでに同協会会員20数社が参加し、水没した家財道具や畳など、応援協力として今年2月末まで続けていく予定だ。



水没して廃棄された家財道具など

（社）三重県産業廃棄物協会 1市4町で連日作業行う 山間部の車両搬入に苦労

（社）三重県産業廃棄物協会（木村亮 会長）は、台風1号による豪雨被害を受けた県内の1市4町で、災害廃棄物の収集運搬・中間処理などの応援協力を連日行っている。県知事からの依頼を受け、11月9日から現場の作業を開始。水没した家屋の解体作業なども進めており、応援協力として今年2月末まで続けていく予定だ。

要請を受けた地域は、紀宝町、熊野市、大木町、御浜町、大台町。これまでに同協会会員20数社が参加し、水没した家財道具や畳など、応援協力として今年2月末まで続けていく予定だ。

十津川村では土砂崩れ、出動要請があり、天川や橋の倒壊で道路網が寸断された。県を通じ、天川村と五條市から、迅速に対応している。

（社）和歌山県産業廃棄物協会 集積物を安全・迅速に処理 1日も早い復興のため

（社）和歌山県産業廃棄物協会（武田全弘 会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物の撤去・処理に協力をしている。同協会の地元を、県南地域で活動している。同協会の地元を、県南地域で活動している。同協会の地元を、県南地域で活動している。

（社）和歌山県産業廃棄物協会（武田全弘 会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物の撤去・処理に協力をしている。同協会の地元を、県南地域で活動している。同協会の地元を、県南地域で活動している。

（社）和歌山県産業廃棄物協会（武田全弘 会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物の撤去・処理に協力をしている。同協会の地元を、県南地域で活動している。同協会の地元を、県南地域で活動している。

（社）和歌山県産業廃棄物協会（武田全弘 会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物の撤去・処理に協力をしている。同協会の地元を、県南地域で活動している。同協会の地元を、県南地域で活動している。

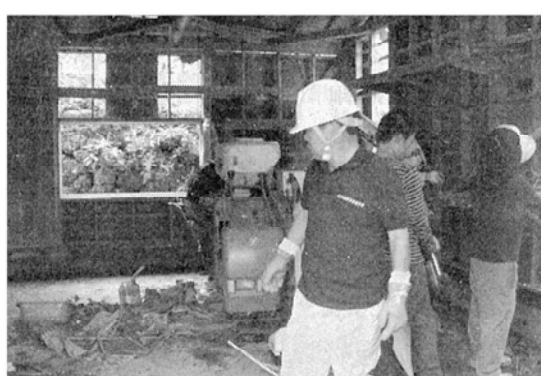
（社）和歌山県産業廃棄物協会（武田全弘 会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物の撤去・処理に協力をしている。同協会の地元を、県南地域で活動している。同協会の地元を、県南地域で活動している。



和歌山県的那智漁港のようす



道路脇に浸水した家財などが横たわっていた



浸水した倉庫からの運び出し



三重県紀宝町での作業



住宅地での運搬作業

処理協定に基づき出動